

「いい汗、いい顔、いい気持ち」

今年も「佐志田んぼ」に一斉に新緑の若苗が植えつけられました。毎年のことではありますが、一時の間に田園風景が変化するのも季節ならではではないでしょうか？佐志田んぼの素晴らしい景観に魅了されます。

「お米」の一生はなぜ、「苗」「稲」「米」と呼び名が変化していくのでしょうか、不思議でなりません。米作りの近代化や機械化がなされる前の農耕は全てが手作業であり、唯一、牛・馬が何より重要な力であったと文献に記されています。佐志村には、昔から馬の頭数が他の地域に比較して、飛びぬけて多かった事も記録されているようです。交通の要所という言い伝えもありますが稲作が盛んだったことも、物語っているのではないのでしょうか。昔は「早苗」から「お米」になるまで108回の手間がかかったとも言われます。除夜の鐘や煩惱の数に値するものです。お寺にお参りする時に、重箱にお米を入れて持っていくのも「人の一生」と意味合いがあるような気がします。

「いただきます」「ごちそうさま」という感謝の言葉、お米の尊さを今一度、考えてみてはどうでしょうか？「同じ釜の飯を食う」とはよく言ったもので、そこから「和」（なごみ）と言う文化が生まれ、「稲作」（米づくり）と言う重要な仕事に通じている事を思い出してほしいものです。

今年度も区民の皆さんの笑顔が見られますように、「いい汗、いい顔、いい気持ち」で頑張っていきましょう!!後日、回覧配布で「令和5年度佐志区公民館活動計画」をお知らせしますので、お目通しください。区民の皆様のご理解ご協力をお願いします。

佐志区の主な組織

【公民館役員】

役 職	氏 名	公民会
公 民 館 長	三角 航洋	豆 漬
副 公 民 館 長	豊増 泰弘	田 原
会 計	福田 澄孝	布 田
総 務 部 長		
文 化 部 長	深川 紀子	ほたる
産 業 部 長	竹中 修一	木 洸
女 性 部 長	宮之脇加代子	さくら
福 祉 部 長		
監 査 委 員	橋口 正人	仮屋原
監 査 委 員	米良 瑞枝	さくら
代 議 員 会 議 長		
財 産 管 理 委 員 長		
財 産 管 理 委 会 計		
ニ ュ ー 女 性 部 長	岸良よし子	豆 漬
ス ポ ー ツ 推 進 員	原之藺 学	田 原
ス ポ ー ツ 推 進 員	小西 ゆかり	あながわ
青 少 年 育 成 委 員	橋口 正人	仮屋原
踊 り 担 当	宮之脇加代子	さくら
健 康 体 操 担 当	深川 紀子	ほたる

【公民館役員】

役 職	氏 名	公民会
ス ポ ー ツ 部 長	福島 正浄	前 目
ス ポ ー ツ 部 副 部 長	宮之脇 智彦	ほたる
ス ポ ー ツ 部 会 計	福島 泰幸	豆 漬
区（体協）広報委員	久保 敬作	広 瀬

【公民会役員】

公民会名	戸数	公民会長	スポーツ部員
木 洸	34	假屋 渉	垣内 浩隆
仮屋原	58	石之野 利弘	前床 倫人
前 目	28	福島 法篤	中原 隆裕
ほたる	51	東 幸廣	山崎 博文
広 瀬	39	市園 俊彦	宮里 知弘
池之野	34	今園 正二	池之野 裕二
さくら	47	豎山 敏久	米澤 祐樹
上寺下	49	手塚 和昌	東 秀樹
豆 漬	60	坂元 良次	宇宿 真吾
布 田	49	坂元 高一	中村 孝平
あながわ	141	高代 孝	前田 真一郎
田 原	69	三角 政則	杉川 勝浩
計	659		

【さつま町消防団 佐志分団】

役 員			
分団長	豊増 浩三	田 原	
副分団長	楠原 重孝	さくら	
部長・1班長	内山 敬太	仮屋原	
会計・2班長	岸良 剛	豆 漬	
3班長	桐野 靖禎	ほたる	
団 員			
川津 充弘	あながわ	今東 佑介	あながわ
小川内 陽介	ほたる	池之野 智幸	池之野
折小野 仁	あながわ	久保 貴政	あながわ
福島 正浄	あながわ	竹中 正洋	木洸
栗屋野 友博	あながわ	中原 隆裕	前目
久保 文崇	上寺下	田中 光洋	ほたる
安峯 靖人	上寺下		

よろしく願い
いたします。



いよいよ各行事の再開！危惧されることは？

令和5年5月8日に、コロナが第5類に分類され、行動（マスク着用など）が緩和され、様々な行事が4年ぶりに再開されることが予想されます。このことにより、心配されることを大きく2点上げます。

【問題・課題】		
①	3年間のブランクによる、スポーツ行事での事故・ケガ	十分な練習期間の設置とケガ発生時の対応の確認
②	急激な少子高齢化による、行事参加への気力の低下及び参加辞退の公民会の増加	合同チームの結成（ソフトボールではすでに実施）、佐志区伝統の隊別対抗での行事開催。

佐志区・佐志区スポーツ委員会（佐志区体育協会）では、これまでも、少子高齢化に対応してルールの変更などで対応してきましたが、急激な少子化やコロナのブランクをかかえた現在の状況では、少々のルール変更では対応しきれない状況になってきています。町内他地区では例をあげると、同規模の平川公民館では地区を大きく4公民会に分割して運営をしています。佐志区でも出来ないことなのでしょうか。

避けて通れないこの合併問題を佐志区スポーツ委員会が中心となりその礎を作っていきたいと考えています。そしてまた、いかなる状況下でも、住みやすく人間関係も暖かく明るい郷土づくりのために、区民の皆さんの意見を取り入れながら、邁進していきたいと思ひます。

佐志区公民館だより

第9号②

発行責任者：三角航洋

4年ぶりソフトボール開催

初代優勝あながわ公民会！

4年ぶりの行事再開のトップを切って「令和5年度 第35回佐志区ソフトボール大会」が、令和5年4月23日（日曜日）に、さつま町B&Gグラウンドで開催されました。その結果、栄えある総合優勝は、あながわ公民会に輝きました。

久々のスポーツ行事ということで、はじめは珍プレーの続出でしたが、グラウンドいっぱいに響く歓声に「みんながそろって行うスポーツはやはり、いいものだ。」と感想を持ちました。

今回初めて、少子高齢化の中、単公民会ではチーム編成が出来ないということで、連合チーム（木渋・広瀬・池之野・さくら・前目）が結成されました。今後各種目で同じ光景が見られるようになるでしょう。



佐志壮年チーム

圧勝する！

さつま町壮年ソフトボール大会が、令和5年5月12日（日曜日）に、さつま町総合グラウンドで、昨年度に引き続き、各チーム2試合限定の形で交流大会として開催されました。

その結果、佐志チームは白男川公民館に対して⑥対1、虎居公民館に対して⑪対3で勝利しました。佐志チームは「飲んごろーず」を中心に編成され数回の練習を重ねて臨みましたが、対戦チームからも、「佐志は強い」「佐志はまとまりがある」との声が出るほどの、圧勝という結果を残してくれました。

チーム編成

総監督（三角館長）、監督（永野 彰彦）					
選手	公民会	選手	公民会	選手	公民会
中山 幸寿	広瀬	福島 正浄	前目	山崎 博文	ほたる
平田 雅和	ほたる	前床 倫人	仮屋原	前田 一美	あながわ
中山 健一郎	上寺下	福島 正宣	前目	仮屋 智和	木渋
小西 ゆかり	あながわ	内山 敬太	仮屋原	宮里 知弘	広瀬
福島 泰幸	豆漬	宮之脇 智彦	ほたる	前田 真一郎	あながわ
垣内 浩隆	木渋	渡邊 義幸	上寺下	牟田園 和行	豆漬
迫田 典弘	田原	石之野 英	上寺下	楠原 重孝	さくら
松山 栄伸	布田				

※選手・係の皆さんご苦労様でした。



編集後記

佐志区ソフトボール大会で、初めて合同チームが結成されました。容赦なく迫る少子高齢化の中では致し方ない現状です。今後ますます、同じように合同チームの競技が増えていくでしょう。その中で、合同チームある公民会がテントを張り応援をしていました。公民会単独では出場していなくても、同じ集落の選手その家族の応援にかけつけている光景を見て、微笑ましくも思ったところでした。

